

コーパスから得られるコロケーション情報 「影響、刺激、感動」を中心に

大 曾 美 恵 子

0 . はじめに

英語では1990年代に大規模な電子化コーパスが構築され、広く言語研究、辞書編纂等に利用されようになった。その結果、コーパスを利用することによって得られる有用な情報の入った辞書が相次いで出版されている。⁽¹⁾

日本語ではまだこのようなコーパスを活用した辞書は編まれていないが、今後早期にこうした日本語学習辞書の編纂が望まれる。日本語においても1991年～1999年の毎日新聞コーパス、日本語教育支援システム研究会（CASTEL/J）編纂の講談社ブルーバックス、寅さんシリーズの脚本などからなるコーパス等、利用できるコーパスが徐々に増えてきているという状況もある。

この小論の目的はコーパスを使った場合、コロケーションに関してどのような情報が得られるかを探ることで、「影響、刺激、感動」という3つの漢語を中心に検討する。この3語はすべて「～を与える」と言う形でしばしば新聞に現れるもので⁽²⁾、いずれも日本語能力試験2級語彙リストに入っている。

使用するのは毎日新聞1999年度一年分のデータである。

1 . 取り上げる漢語の性質

取り上げる3語はすべて、名詞であるが、「する」を伴うと動詞になる。しかし、「影響する」と同様の意味は「影響を与える、影響を及ぼす」という形でも表すことができる。「刺激する」も「刺激を与える」と意味的に酷似している。「感動する」の場合は「感動させる」という使役の意味を「感動を与える」という句で表現することができる。同様に、「影響される、刺激される」という受身の意味は「影響を受ける、刺激を受ける」で表現可能であり、「感動させる」は「感動を与える」だけでなく、「感動を呼ぶ」という形で置き換えられる場合がある。そこで、これらの動詞及び動詞句がどのように使い分けられているのか、コーパスを用いて探ってみる。

2. 「影響」

2.1. 動詞と連語

「影響、刺激、感動」の3語はすべて「～を与える」という形でしばしば新聞に現れるが、最も多くこの形で使われるのが「影響」である。⁽³⁾ 1999年度の毎日新聞には「影響」という言葉が「悪影響」なども含めて、8600例以上出てくるが、その中動詞/動詞句として使われているのは次の通りである。⁽⁴⁾

「影響する」	851 例	(うち 「影響される」47例)
「影響を与える」	1291 例	
「影響を及ぼす」	493 例	
「影響を受ける」	469 例	

次にいくつか用例を挙げる。

- (1) 購入先の英国から指摘されて初めて認めたもので、国民の生命に影響する原子力問題が「ずさん」では済まない。
- (2) 地域スーパーの中でも、最も堅実な生鮮3品、野菜、肉、鮮魚主体の店ですから、あまり好不況には影響されません。
- (3) 為替が日本経済にとって望ましくない影響を与えるならば、十分関心を持って、ウオッチしていかなければいけない。
- (4) 裁判期日の変更は当事者に重大な影響を及ぼし、時に裁判への不信感すら抱かせる。
- (5) 自然の微妙なバランスによって成り立つ生態系は、人間にとってちょっとした用足しであっても、大きな影響を受けかねない。

「影響を与える、影響を及ぼす、影響を受ける」は格助詞「を」の次に直接動詞が来ているもの、及び、「与える影響、与えた影響、及ぼす影響、及ぼした影響、受ける影響、受けた影響」という連体修飾節を伴うもののみ検索したので、実際にはもう少し、用例は増えるものと思われる。

上に示した結果から、この語の場合は「影響する」より、「影響を与える/影響を及ぼす」の形がよく使われることがわかる。同じく、「影響される」という受身形が47例しか現れていないのに対し、「影響を受ける」は469例で、後者の方が圧倒的に多く

使われている。「影響を与える」と「影響を及ぼす」では前者の方が多く現れている。

2.2. 修飾語

「影響を与える、影響を及ぼす」のコロケーションを見てみると、「影響」に様々な形の修飾語がついていることが多い。修飾語を伴っているわけではないが、「～する」とはならない「悪影響」も加えて次にその出現数を示す。

	与える	及ぼす
「～な影響」	421 例	131 例
「～の影響」	21 例	8 例
「～い影響」	51 例	16 例
「悪影響」	74 例	80 例
合計	567 例	235 例

「与える影響」のような連体修飾の用例を除き、「影響を与える、影響を及ぼす」で使われたのは、それぞれ1089例、425例である。つまり、その半分以上が修飾語を伴っていることが分かる。上に示したのは、形容詞、名詞を修飾語として伴う場合のみであるので⁶⁾、連体修飾節を伴っているものを加えると更に数字は増えるものと思われる。言い換えれば、名詞修飾語を付けるという構文上の理由から、名詞の「影響」が選ばれ、「影響を{与える / 及ぼす}」という形が使われていると言えよう。

次に修飾語として最も多く使われているナ形容詞の主なものの出現頻度数を示す。

	与える	及ぼす
「大きな影響」	239 例	14 例
「重要な影響」	52 例	12 例
「重大な影響」	24 例	28 例
「微妙な影響」	22 例	5 例

一番多いのは「大きな」であるが、「大きな影響を{与える / 及ぼす}」が計253例であるのに対し、「大きく影響する」と副詞を使ったものは79例であり、前者の方が好まれることが分かる。また、名詞修飾に使われるのは「大きな」であり、「大きい影響を{与える / 及ぼす}」は一例も出てこないのも興味深い。次に例を示す。

- (6) 戦後の社会心理学に大きな影響を与えたE・フロムが「自由からの逃走」をアメリカで出版したのは1941年だった。
- (7) 破たんが金融システムや地域経済に大きな影響を与える場合には公的資金を投入、預金の全額保護を含めた措置も講じるとしている。
- (8) 年末年始にコンピューターが誤作動を起こせば、2000年問題による故障と誤解され、大きな影響を及ぼす可能性がある。
- (9) 同国の選挙制度では比例区での得票率が各党の議席数に大きく影響する。

名詞修飾関連では「悪影響を{与える/及ぼす}」が114例あるのに対し、「悪い影響を{与える/及ぼす}」は14例しかない。少なくとも新聞においては前者の方が圧倒的に多いことが分かる。

次に「影響を与える」と「影響を及ぼす」を比較すると、前者が1291例であるのに対し、後者は493例であり、「影響を与える」のほうが倍以上使われている。

「影響を与える」「影響を及ぼす」で興味深いのは「{いい/良い}影響を与える」が25例出てくるのに対し、「{いい/良い}影響を及ぼす」はわずか1例しかないことである。同様に「悪い影響を与える」が12例あるのに対し、「悪い影響を及ぼす」は2例しかない。「悪影響」の場合「与える」が74例、「及ぼす」が80例とほぼ互角であるのと対照的である。これは「{いい/良い}影響」の口語的な響きが「与える」「及ぼす」の選択に影響しているものと思われる。つまり、「及ぼす」の方が堅苦しく、文語的であることを示していると見てよいであろう。

- (10) 息子たちの当番表を見て、体が弱い母親を持ったことが、将来、彼らが築くであろう家庭生活にいい影響を与えてくれると確信した。
- (11) 微生物には人間にとって良い働きをするものと、悪い影響を与えるものとある。
- (12) 木そのものにもあの豆電球の熱は悪影響を与えないのだろうか。
- (13) 予算審議がダラダラ遅れるようなことになれば、かえって景気に悪影響を及ぼす。

3. 刺激

「刺激」は「刺激的、刺激策」などを含めて、1227例現れる。そのうち、「刺激する」という動詞として使われたケースは363例ある。この中、「刺激される」という受身の形で使われたのは71例である。「刺激を与える」「刺激を受ける」と比較した頻度数を次にまとめて示す。

「刺激する」	291 例
「刺激を与える」	77 例
「刺激される」	71 例
「刺激を受ける」	46 例

「刺激」の場合は、「影響」と異なり、「刺激する」という動詞の形の使用がその受身形を含めて、「刺激を与える、刺激を受ける」より多く使われていることが分かる。

「刺激を与える、刺激を受ける」の「刺激」に名詞修飾語が付いているケースは次の通りである。

	<u>与える</u>	<u>受ける</u>
「～な刺激」	14 例	1 例
「～の刺激」	2 例	3 例
「～い刺激」	5 例	5 例

合計123例の「刺激を与える / 受ける」のうち、修飾語を伴っているのは30例であり、「影響」と比べるとかなり比率が落ちる。次に例をあげておく。

- (14) ルーキー瀬戸口、防府マラソン優勝の渡辺共らが順調に育っており、小島忠もチーム内の新陳代謝の激しさに強い刺激を受けている。
- (15) その結果、レバーを押して電気刺激を避ける学習試験テストで、スチレンを取り込んだ群（8匹と9匹）は、オリーブ油だけの群（8匹）に比べ、電気刺激を回避する能力が低く、刺激を受ける回数が多かった。
- (16) 破片や壊れているものでいいから、実物を触り、見るのが大切なんです。本物に刺激を受ければ、そこから自分の夢が膨らみ、応用、改良、発展し、やがて創作へとつながるのではないのでしょうか。
- (17) 方向性を持たなかったチームに機動力重視という指針を示し、その野球観や作戦で選手に刺激を与え、6年ぶりの首位に立った。

例（15）のように何らかの物理的な「刺激を受ける」場合は、「刺激される」ではなく、「刺激を受ける」が使われる。この辺りはもう少し丹念に考察して行く必要がある。

4. 「感動」

「感動」は「感動的、感動もの」などを含めて、1231例現れた。そのうち、「感動する」という動詞として使われた例が384例ある。このうち「感動させる」という使役形で使われたのは31例である。「感動させる」と同等の意味を表すものに「感動を与える」「感動を呼ぶ」がある。「感動する」と同じ意味は「感動を受ける」で表される。それらを比較した出現頻度数を次に示す。

「感動する」	353 例
「感動を受ける」	1 例
「感動させる」	31 例
「感動を与える」	46 例
「感動を呼ぶ」	45 例

「感動」という経験を表す場合は「感動する」という動詞が使われるが、感動を引き起こす場合は「感動させる」という使役形より、「感動を与える、感動を呼ぶ」のほうが多く使われていることが分かる。「感動を{ 与える / 呼ぶ / 受ける }」の「感動」に名詞修飾語がついている場合が38例あり、92例中38例、つまり約40%の割合で修飾語を伴っていることが分かる。「感動を呼ぶ」は自然発生的に「感動」という感情が起こるのに対し、「感動を与える」には例(18)のように、与え手の意志の含まれることもある。

- (18) ピアノで感動を与えるんじゃないくて、みんなで感動を共有できたらいいな、そう思っていました。
- (19) 困難にぶつかりながらも明るく前向きに生きてきた忍足さんと、それを支える家族の姿が読む人に勇気と感動を与えている。
- (20) 接戦を制して勝ち上がったきた帝京大は、「挑戦者として感動を呼ぶ試合をする」川瀬主将)と気迫十分だ。
- (21) 日本では昨年、毎日新聞社の「小児がん征圧キャンペーン」に伴い、世界的なソプラノ歌手、中丸三千繪さんが各地の病院を訪ね、感動を呼んだ。

5. 「～(ら)れる」vs. 「～を受ける」

「影響される 影響を受ける」、「刺激される 刺激を受ける」のように受身形と同様の意味を「～を受ける」という形で表現できる漢語が日本語にはこの他にも数多く

存在する。本節では、その中から次の6語を取り上げ、その用法の違いを探ってみる。取り上げるのは日本語能力試験2級の語彙項目として指定されている「歓迎、警告、攻撃、誤解」と1級レベルの「非難、挑戦」の6語である。

先ず、6語の受身形と「～を受ける」という表現の出現回数をまとめて示す。

	<u>～される</u>	<u>～を受ける</u>
「歓迎」	71 例	41 例
「警告」	10 例	53 例
「攻撃」	99 例	161 例
「誤解」	77 例	7 例
「非難」	89 例	12 例
「挑戦」	2 例	37 例

以上、単語によってどちらが多く現れるかにはかなり差があることが分かる。次に個別に特徴を見ていく。

5.1. 「歓迎」

「歓迎される」と「歓迎を受ける」では、前者の主体が人間だけでなく、様々なモノ・コトであるのに対し、「歓迎を受ける」という形で出てきた例文の主体はすべて有生物であり、主として人間である。

また、影響と同じく、「歓迎を受ける」の「歓迎」の約半数は「盛大な、熱烈な、暖かい、熱い、～の」といった名詞修飾を伴っていることが分かる。次にその例を示す。

- (22) 登録台数1293万台と、街を走る自転車も“過密”な東京。省エネで健康にもいいと歓迎される半面、歩行者をヒヤリとさせるなど、マナーの悪さも目立つ。
- (23) そのために全国組織として「日本子どもの虐待防止研究会（JaSPCAN）」がある。今年は11月19、20日に第5回学術集会在宇都宮市で開かれ、一般の人々の参加も歓迎される。
- (24) 慈善活動が一部のヒンズー社会で歓迎されているのは事実だ。
- (25) 両陛下は関西国際空港から車で仁徳天皇陵に到着。市民の歓迎を受けた。
- (26) 一行は日本各地で大歓迎を受け、握手攻めにあった。
- (27) 7日午後、釜山に到着した金嬉老さんは行く先々で厳重な警備の中、盛大な歓迎を受けた。

5.2. 「警告」

「警告」の場合は「警告を受ける」の方が「警告される」よりずっと多い。「警告を受ける」はサッカー、柔道に関する記事の中でしばしば現れる。つまり「警告」というルールがあるスポーツ関係の記事の中では「警告される」ではなく、「警告を受ける」が使われている。また、(28)のように「受けて」が「～に対応する処置として」の意味を含む場合は、「警告されて」はなじまない。

「警告される」10例のうち、6例は「～と警告された」という形で使われている。

- (28) 茨木市の防災担当者は、警告を受けて緊急連絡体制のチェックを行っていた。
- (29) セ大阪は前半39分、清水が2度目の警告を受けて退場。
- (30) 2年間の単身赴任を終えて受けた健康診断で、医師から「このままだと必ず合併症が起きます」ときつく警告された。
- (31) パブル絶頂期に、第二地銀1位だった兵庫銀行(95年に破たん)と定期預金獲得でトップ争いを演じたが、金融当局幹部から「不良債権が急増する」と警告された。

5.3. 「攻撃」

「攻撃」も「警告」と同様に「攻撃を受ける」が「攻撃される」の2倍ほど、使われている。そして、「攻撃を受ける」161例中、35例は「～の」という修飾語を伴っており、45例は「武力攻撃、ミサイル攻撃、報復攻撃」など複合語が使われている。つまり、161例中、半数には修飾要素が付いていることが分かる。

- (32) 有事法制は日本が武力攻撃を受けた場合に自衛隊などに認める特例措置を定めるもの。
- (33) そして入浴後、気づいたら両足にいくつもの赤い斑点。知らないうちに蚊の攻撃を受けていたというわけである。
- (34) 11月初め、福岡ダイエーホークスの工藤投手の移籍問題が騒ぎになり、球団代表の高塚猛さんが攻撃されていた。

5.4. 「誤解」

「誤解」は「誤解される」77例に対して、「誤解を受ける」はわずか7例しかない。

「誤解される」は「～と誤解される」と引用節を伴ったものが37例あるのが目を引く。

- (35) こうした批判に対し、法案作成に当たる経済企画庁は「消費者契約法ですべての契約トラブルが解決できると誤解されている」(国民生活局)と、予防線を張っている。
- (36) 多少誤解を受けたが、禁煙を我慢できずに海外旅行をあきらめる人がいるので、喫煙席などがある外国の航空路線などを使って、ツアーを楽しんでもらうプランだ。
- (37) 「人間の行動はすべて脳が命じてやっていること。それをテレビで扱うのは誤解を受けやすいが、貴重な映像がテレビで伝えられるというメリットをとって、参加を決めた」と、語っている。

5.5. 「非難」

「非難」も「誤解」と同様に「非難される」89例に対し、「非難を受ける」は12例しかない。その12のうち、8例には「辛らつな、厳しい、強い、国際的」などの名詞修飾語がつき、ある文では「中傷や非難を受ける」と言う形で現れている。つまり「非難を受ける」の選択には、構文が関わっていると言える。

- (38) だが警察・検察の捜査は、判決で厳しく非難された。
- (39) この作品は文芸評論家から辛らつな非難を受けた。
- (40) 野村証券は、先の証券不祥事の際、社会的に厳しい非難を受けたのに、本件まで、総会屋との関係を断つというき然たる対応をしなかった。
- (41) 中絶するには、承諾書に父親のサインがいる。産んでも、父親の認知がなければ、非婚の母としてさまざまな中傷や非難を受ける。

5.6. 挑戦

「挑戦」の場合は「挑戦を受ける」が37例あるのに対し、「挑戦される」は2例しかない。「挑戦を受けて立つ」のように「受ける」を使うことによって、受け手の意志を表すことができる点から、こちらが選ばれているようである。「挑戦を受ける」の大半の例はスポーツ、囲碁、将棋などの記事に現れたものである。

- (42) チャンピオンシップを制した磐田は東京の挑戦を受ける。
- (43) 読者予想ダービー昨年のチャンピオン・有末さんが今月は神吉さんと大島さんの

挑戦を受けます。

(44) いま大学は時代と環境の変化に挑戦され続けている。

6. おわりに

この小論では、「影響、刺激、感動」を中心に、「歓迎、警告、攻撃、誤解、非難、挑戦」と計9語の新聞における{動詞/動詞句}としての用法を見てきた。コーパスを検索することで発見されたコロケーションに関する情報は、まだ国語辞典に記載されていないものが多い。例えば、コロケーション情報の比較的豊富な『新明解国語辞典第五版』の「影響」には「大きな影響を与える」「心理的悪影響を及ぼす」は記載されているが、「大きい影響を{与える/及ぼす}」は先ず使われないこと、「悪影響を及ぼす」の方が「悪い影響を及ぼす」より好まれることなど、確率的な情報は記載されていない。日本語学習者に役立つこうした情報の入った辞書の編纂が望まれる。

[注]

- (1) 滝沢 (2001) によると、1995年に*Longman's Dictionary of Contemporary English* (3rd edition) など5冊、2000年には*Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English* (6th edition) など2冊が出版されている。
- (2) 1991年～1999年の毎日新聞コーパスによると、「与える」のヲ格として最も多く現れているのが「影響」で、「刺激」は8位に、「感動」は10位にランクされる。その他の名詞は「損害、印象、衝撃、悪影響、機会、打撃、権限」で「～する」の形では使えない名詞である。「影響」に「悪影響」を加えると、「(悪)影響を与える」がいかに多いか分かる。(大曾、滝沢、(2001))
- (3) 注2参照。
- (4) 動詞はすべての活用形を含む。また「影響を与える」などは「悪影響」「好影響」も含む。
- (5) 「～な影響」はナ形容詞だけでなく、「どんな影響」という連体詞も含む。

[参考文献]

- 大曾美恵子・滝沢直宏 (2001) 「日本語における他動詞文の主語の有生・無生」『日本語電子化資料収集・作成 コーパスに基づく日本語研究と日本語教育への応用を目指して』平成12年度名古屋大学教育研究改革・改善プロジェクト報告書、名古屋大学国際言語文化研究科、53 - 63.
- 国際交流基金・日本国際教育協会著作・編集 (1994) 『日本語能力試験出題基準』凡人社.
- 滝沢直宏 (2001) 「コーパスを使った英語学習」名古屋大学言語文化部・国際言語文化研究科公開講座委員会 (編) 『インターネットと英語学習』開文社、161 - 191.
- 山田忠雄・柴田武他 (編) (1997) 『新明解国語辞典第五版』三省堂.